

2019年11月27日

九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (90)

先日のメッセージ(10月9日配信 87号)で、H2Eという私のライフワークについて書き、まずは最初のHであるHospital managementについて二回ほど書きました。この課題については書籍を含めいろいろな所で触れていますので、重複する所が多くあると思います。

この、病院のマネジメント力向上による無駄の削減、医療の質の向上という流れが動き始めると、病院スタッフが経営者の視点で考え始め、職場の無駄を無くそうと努力し、その結果としてチーム医療も推進されます。

これをライフワークの一つにしているのは、次のようなメリットに繋がるからです。

- ① 公立・公的病院の毎年7,000億円にのぼる補助金が大幅に削減でき、国の財政に役立つ。
- ② 医療の質の向上に繋がる。
- ③ 働き方改革に繋がり、スタッフの定着率の向上とチームワークの向上に繋がる。

そのほかにも多くのメリットがあります。広島や愛媛など、県立病院でのカイゼン成果は出ています。私はこの活動が始まり継続できれば、数年後には全国で毎年2,000億円くらいの補助金削減に繋がるのではないかと想像します。

なかなかその動きが拡大しないのは、それほど深刻にその削減対策を進める気運、危機感がないからです。

公立病院は、管轄が文部科学省、厚生労働省、総務省と別れているのが一つの特徴です。この3省の間で改善意識・競争意識が芽生えたらよいと思いますが、今のところまだその雰囲気は伝わってきません。

「新しいことをしたいが、財務省の認可が出ない」とボヤかれるケースを時折耳にしますが、新たな財源を財務省に頼る前に、補助金の内容の見直し・削減を求めていき、その削減成果から生まれる財源を新しい分野への投資にしてみたいです。国が財政難に瀕していて、新たに必要な投資先に対しての資金源も不足している中で、これだけの巨額の改善余地を残したまま問題を先送りされては、次世代に禍根を残します。

改善活動を開始し、病院をもっと明るい職場にしていきたいと思います。

麻生 泰